

3学年通信

2019年(令和元年)
6月12日 第3学年
学年通信 NO. 4
福山市立城東中学校
学年主任 上谷 愛

～未来を考え未来をつくる～

「対話的・主体的で深い学び」現在、日本の学校教育でよく耳にする言葉です。みなさん
もどこかで聞いたことがありますか。しかし、今に始まったものではなく、今までずっと
このような学びは求められ続けられていました。では、なぜ現在、改めて大きく取り上げ
られているのでしょうか。

子供が生きる近未来で求められる資質・能力とは？

関口修司(日本新聞協会 NIE コーディネーター)

●AI やロボットに仕事を奪われる！？「答えは一つじゃない」未来をどう生きる

「子供の将来が不安だ」という言葉に対し、「いつの時代もそうだ
った。私たちが子供の頃も人生の先輩方が同じことを言っていた。
だから心配することなんてない。何とかなる」などと、のんきな言葉
を返す人がいます。本当にそれでよいのでしょうか。「AI」「イノベー
ション」「グローバル」。このような言葉を新聞で見かけない日はあ
りません。現代は、かつてなく劇的に変化している社会と言えます。
働き方や教室風景を見るだけでも、この10年でそれ以前の数十
年分、いや、それ以上の変化が見られます。未来社会の研究をするアメリカの大学教授は
「2011年秋に小学生になる子供の65%は、今は存在しない職業に就く」と予測しました。「大
きくなったら、〇〇屋さんになる」と夢を語っていた子が大人になったとき、その職業は存在しな
いかもしれません。また、すでに変化は起こってきていますが、10～20年後には日本の労働
人口の半分がAI技術やロボットにとって代わられる可能性があるともいわれています。では、AI
やロボットに仕事を奪われないために、どのようにしたらよいのでしょうか。子供たちが大人となっ
て生きていく近未来は、今までと同じ考えや行動のままでは活躍できない時代になります。答
えが一つでない時代、答えが予測できない時代になるのです。つまり、一つの正答を出せばよ
かった今までの勉強法では十分ではないのです。そんな時代に生きるために、どのような力を
学習で身につける必要があるのでしょうか。



このような世の中になっていくとされているからこそ、本校でも「子ども主体の学び」の
実現に取り組んでいます。授業形態の変化、中間試験の廃止、アンテナノート等画一的な宿
題の見直し、タブレットドリルの導入など、令和の時代の始まりとともに、さまざまな変化
を遂げています。そのような中で、不安の声も多くあります。最も多いのは「アンテナノ
ートや中間試験がなくなったことで、わが子の家庭学習に取り組む姿が見られなくなった」と
いう声です。上記にもあるように、これからは「決められたことをやる」のでは通用しなく
なっていきます。だからこそ、自分に足りないものを自分で求めて自分で培っていく力を身
につけてほしいのです。まずは何でもやってみる！積極的に挑戦していきましょう。そのあ
なたの一步が、自分の、みんなの、よりよい未来につながっていきます。先生たちもそんな
あなたたちを全力でサポートしていきます。一緒に頑張りましょう！

よいよい
未来をつくる

自分の力を確認

- ・標準学力調査
- ・全国学力学習状況調査
- ・第1回実力テスト
- ・単元テスト 等

自分に合った 学習方法を選択

- ・教科の教科書
- ・教科のワーク
- ・タブレットドリル
- ・受験問題集 等

長所を伸ばす 課題を克服する

分からないときや
困ったときは
先生・友達に相談
自分から求める!

自らの課題に向き合い
解決に向けた方法を
自ら選択しねばい強く
取り組む力
これこそ“**求められる力**”

お知らせ

先日はご多用の中、参観日・学級懇談にご出席頂き、ありがとうございます。5月に引き続き、学びの変革にかかる授業もご覧頂けたことと思います。また、学級懇談では、進路説明会のご案内をさせて頂きました。生徒には、プリント配布をしておりますが、再度お知らせ致します。

1. 日時 7月2日(火) 13:40~16:00
2. 場所 備後地域地場産業振興センター
3. 注意 会場への駐車は50台まで

※ 高校の先生が来られます! ぜひ、ご参加ください

〔 公立: 福山工業, 福山商業, 大門,
私立: おかやま山陽, 岡山龍谷, 銀河学院 〕

当日、生徒の昼食はお弁当です



新体カテスト ~福山地区総体~

学力を高めるためには…
体力を高めることも重要です!

